



あけちだより

2

2022

No.17

新成人の門出を祝う

1月9日(日)「令和4年恵那市成人式」が恵那文化センターで開催されました。今年では423名の新成人が出席し、明智町からは37名の参加者がありました。

今年のメインテーマは「縁」、サブテーマは「共につなぐ未来」。コロナ禍で新しい生活様式が求められている今、多くの方の支えがあり、今日の節目の日を迎えることができたことに感謝し、この感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生を歩んでいくという想いを込めたと実行委員長が挨拶をしました。

縁 共につなぐ未来



明智町の人口（令和4年1月1日現在）

	現在	前月比	前年比
総数	4,933人	△14人	△138人
男性	2,409人	△6人	△57人
女性	2,524人	△8人	△81人
世帯数	2,010世帯	6世帯	△12世帯

発行:

明智地域自治区運営協議会（明智振興事務所内）
恵那市明智町843番地1 ☎54-2111

協力:

まいまいあけち HP
明智町自治連合会、明智こども園
明智小学校、明智中学校
明智コミュニティセンター、
明智振興事務所



二十歳のキミへ

成人式当日、新成人のみなさんに「明智はキミを応援してる」チラシを配布しました。

チラシ裏面には、遠く離れていてもいつでも仲間や明智町とつながることができる「まいまいあけちのホームページ」などが案内されています。

また、新成人に明智町に望むことや自分がまちづくりに協力できそうなことを取材したところ「人口が増えるといい」「もっと賑やかな町になるといい」「集まる機会を増やす」など回答をいただきました。

その思いをまちづくりにつなげていきます。



明智はキミを 応援してる

一生に一度の成人式
本当におめでとう

遠く離れて暮らしているキミ
近くで頑張っているキミ

明智はいつでもどこでもキミを
応援してる

募集！あなたの力が必要です

市消防団では、地域防災の要である消防団員を募集しています。

消防団は、地域に密着した消防機関として、火災時の対応はもとより、災害時においても、地域住民の生命・財産を守るうえで重要な役割を果たします。

しかし、団員の高齢化、入団者の減少により消防団組織の維持が厳しい状況となっています。

消防団は安全・安心なまちづくりの実現に欠かせないものであり、一人ひとりの力を結集することにより地域の安全も確かなものになります。

今こそ、あなたの力が必要です。力を合わせ一緒に地域を守りましょう。

申し込み先 恵那市消防本部 消防課 消防団係
電話 0573-26-0119



空き家を活用した人口減少対策

現在明智町は、人口減少に加え、空き家や耕作放棄地も増加傾向にあり、地域一丸となって検討しなければならない状況にあります。

このような町の課題解決に向けて、明智の将来について考えていこうという気持ちをもった人が集まり「明智みらい会議」の名称で組織が立ち上がりました。

12月5日（日）明智みらい会議では、吉田地域活性化委員会の皆さんと一緒に近隣の豊田市おいでんさんそんセンターで旭敷島自治区の移住定住、いなか暮らし総合窓口の取組み、ガキ大将養成講座のほか、足助萩野自治区のトンカン木工塾、古民家を活用した地域づくりの取組みを視察してきました。

今回の視察は、今後の活動に大変参考になることが多く、明智町の課題解決に役立てていきたいと思えます。

また活動の様子はSNSや紙面で明智の皆様にお届けします。
紙面での初回お知らせは、4月頃を予定しています。



トンカン木工塾視察の様子

振り込め詐欺と火災にご用心！

いそがいよしと

1月13日(木) 明智単位民生委員児童委員協議会の定例会で、明智警察官駐在所の磯谷義人警部補をお招きし、高齢者における明智の現状をお話しいただきました。

明智町では、昨年5か所ある金融機関の連携により3件の振込詐欺が未然に防げたそうです。

振り込む前に身近な人や金融機関の方、民生委員に相談をしましょう。

町内で12月と1月に火災が続けて発生しましたが、タコ足配線やストーブの周りに引火しやすい洗濯物などを干さないよう訪問時に伝えて欲しいとお話がありました。

困ったことがあった場合は、ぜひお近くの民生委員にお声掛けください。

お問い合わせ先 明智振興事務所 54-2111



すわがねに登って海をみよう

12月26日(日) 吉田地域活性化委員会の「すわがね部会」で、小学生とこども園の親子を対象にすわがね登山を計画したところ、約60名の親子の参加がありました。

当日山頂では、ふれあいサロンのみなさんによる温かい飲物のサービスや木の上のサンタクロースからお菓子のプレゼントなどもあり、小雪がちらつく寒い山頂でしたが、楽しいひとときを過ごしました。

西日のあたる午後の空気が澄んだこの時期は、吉良の海(現在の西尾市方面)が頂上から望め、当日も遠くにきらきらと輝く海を見ることができ、今回の目的を達成できました。



合格祈願！恵那南高校受験生を地域サポーターが応援

駅前町集会所をお借りし生徒の自学自習をボランティアで見守り続けている「恵那南高校地域サポーター」のみなさんが、1月14日(金) 大学入学共通テストに臨む6名の生徒を激励しました。

激励会では、明知鉄道考案の「すべらないお守り」を激励品として手渡し、生徒が頑張ってきた努力を「花は咲く」のメロディーに歌詞をつけ合唱し、激励会に花を添えました。

※恵那南高校の地域サポーターを随時募集しています。

QRコード⇒



お問い合わせ先 明智振興事務所 54-2111

2月イベント情報

明智振興事務所での確定申告受付日程は下記の5日間です。

4日(金)、7日(月)、8日(火)、9日(水)、10日(木)

3学期始業式

1月11日（火）、第3学期の始業式をおこないました。気温が非常に低いこと、そして、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、通常のように体育館へ集まることは避け、テレビ会議システムを通じての始業式となりました。



情報モラル学習をおこなっています

朝活動の時間を活用して、情報モラル学習をおこなっています。これまでに、「軽はずみなSNSへの投稿」・「身近にひそむネットの使い過ぎ」と題する動画を各学級で視聴し、過度なインターネットの利用が生活習慣に支障を来すなど、日常生活に与える影響について考えました。



八王子神社しめ縄づくり

12月18（日）に、1年生男子生徒8名が八王子神社のしめ縄づくりに挑戦しました。生徒達は「よい1年になるように」と心を込めてしめ縄をつくりました。参加した生徒からは、「縄をつくるのは難しかったけれど、丁寧に教えていただき楽しかった。」「神社に飾られる日が楽しみです。」といった感想があげられました。



明智小学校

【児童数】 1年生:22名 4年生:31名
2年生:23名 5年生:27名
3年生:37名 6年生:54名

<http://www.ena-gif.ed.jp/akechi-e>

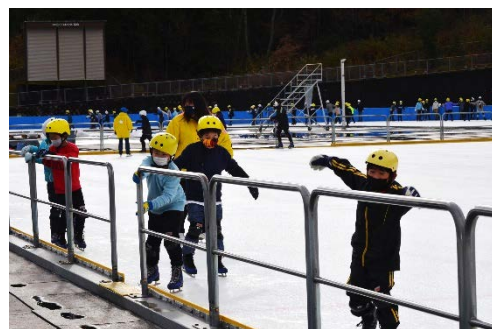
コミュニティセンター訪問

12月15日(水)・16日(木), 1年生と2年生の児童が明智コミュニティセンターと明智振興事務所に出かけました。コミュニティセンターの図書室で本を借りたり, 振興事務所とコミュニティセンターについて説明を聞いたりしました。1年生は市民講座(太極拳教室)の体験もさせていただきました。



スケート教室 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場

12月1日(水), 3年生から6年生までの児童によるスケート教室を開催しました。生まれて初めてスケートをするという児童は, 最初, 恐る恐る氷に立っていましたが, インストラクターの皆さんの指導によりみるみる上達していききました。また, スケートに慣れている児童は, スピードスケートリンクを颯爽と滑っていました。帰る頃には, 「もっと滑っていたい!」「今度は家族と来たい!」などの声が多く聞こえました。





令和3年度（1/11 現在）

年長児 31名 年中児 18名

年少児 27名 未満児 13名

全園児 89名

劇あそび参観日 12月10日（金）2歳児～5歳児

友達とイメージを共有しながら協力して道具作りや役になりきって表現することを楽しんできた劇あそびです。参観日当日はお父さんやお母さんの前で、緊張しながらもどのクラスも堂々と発表することができ、保護者の方と子ども達の成長を一緒に喜べる嬉しい日となりました。



ひよこ組
「おおかみさん」



りす組
「大きなかぶ」

うさぎ組
「とんとんとめてくださいな」



ぞう組
「めっきらもっきらどおんどん」



ぱんだ組
「ぎろろんやまと10匹のかえる」



きりん組
「どろぼうがっこう」



クリスマス会

12月23日（木）

こども園にも待ちに待ったサンタさんが来てくれました！

当日まで子ども達とサンタさんは手紙のやり取りをしてきたので、ワクワク感いっぱいでお迎えしました。一人ひとりプレゼントを頂き、テラスで歌も聴いてもらえました。サンタさんありがとう！



みんなのコミュニティセンター

明智コミュニティセンター 令和4年2月

第64回 明智町文化祭が開催されました！

12月11日(土)12日(日)の2日間、明智コミュニティセンター・明智振興事務所で「明智町文化祭」を開催し、約400名の方々に越えいただきました。



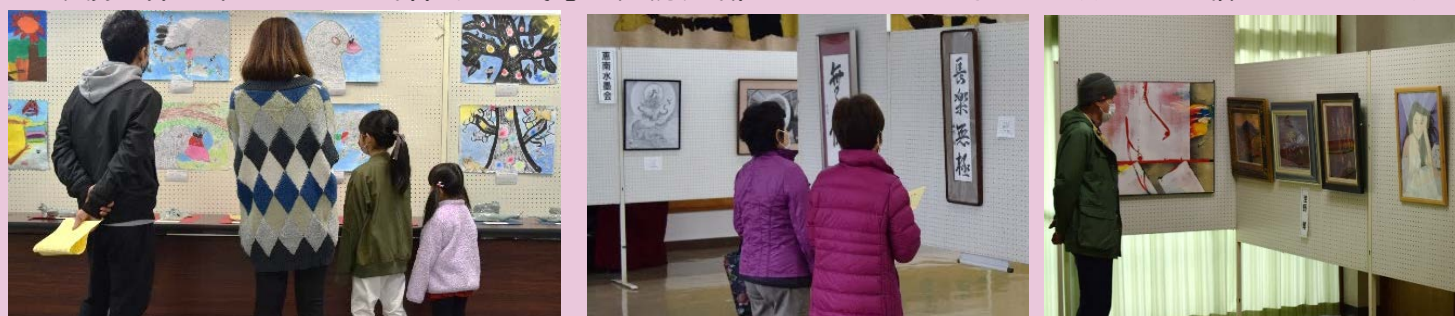
今年度も、明智小・中・こども園を始め、日頃からコミュニティセンターや明智町内で活動する各種団体、乳幼児学級、福祉団体など350名(22団体・個人6名)が、絵画や書道、陶芸、ハンドメイド作品、園芸、絵手紙など様々なジャンルの作品を数多く出品してくださいました。



出品者の方の中には「コロナ禍だからこそ、自宅で集中して活動する時間が増え、例年以上に素晴らしい作品が出来た」と仰る出品者の方もいらっしゃいました。また、毎年文化祭を楽しみにされている方も多く、「今年も開催してくれて嬉しい」とご家族やご友人の作品を熱心に鑑賞されている姿が印象的でした。



今後も皆で作りに上げる「明智町文化祭」を継続、開催していきたいと思います。宜しくお願いいたします。



恵那三学塾 後期市民講座便り

《恵那の山城を歩こう：実技編》



12月11日に行われた大人気の「恵那の山城を歩こう」後期講座は、実技編として、15名の受講生と白鷹城へ出掛けました。今もしっかりと原型が残っている大規模な畝上堅堀や横堀、堀切を間近に見ながら三宅唯美さんの説明を聞きました。前期の座学が生かされたとても有意義な時間となりました。来年度は山城サミットが恵那市で開催されますので令和4年度の市民講座でも山城講座を企画する予定です。山城ファンの方、お楽しみに！

《山本芳翠の生き方に学ぶ》



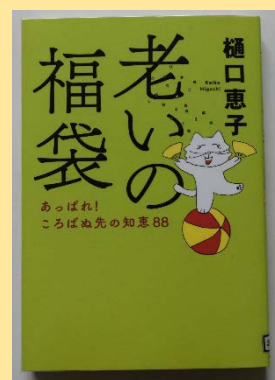
明智町出身の先人「山本芳翠」を学ぶため、恵那市ふるさと学習読本「山本芳翠編」の編者である伊藤勝彦さんに講師をお願いしました。パワーポイントを使って芳翠の生い立ちや生き方を野志地区に伝わる幼い頃の逸話を交えながら学びました。受講生からは「山本芳翠の名は知っていてもここまでドラマチックに生きた人物だとは知らなかった。」「明智町民として誇らしい気持ちになった。」との感想をいただきました。こちらの講座も令和4年度の前期市民講座で企画する予定でおりますので宜しくお願いいたします！

みんなの読書感想文コーナー

楽しみにされている方も多い「みんなの読書感想文コーナー」は今回で4回目になりました！
今回の読書感想文は、お出掛け大好き！Iさん からの投稿です。

「ヨタヘ口期」の過ごし方ヒント本

新聞の下段の広告欄で目にとまった、樋口恵子著「老いの福袋」。題名と本の紹介文からすぐに読みたと思った。著者自身の「老い」の進行を率直に述べてあり、又、ユーモアあふれる言い回しで楽しく読むことができた。和式トイレで立ち上がれなくなったという経験、老いるとはそういうことなんだと身につまされた。昨日できたことが突然できなくなる「老いるショック」がもう少し時間があると思うが私にもやってくる。日々、物忘れが多くなってきているのは、自分でもよくわかっている。この本は「老い」を落ち込まないように考えるヒントがいっぱい詰まった本であった。



寒い日はおうちでのんびり本を読もう！ —コミセン図書室の利用—

明智コミセン図書室は、一般書・児童書・雑誌等が約1万冊以上あります。これは、恵那市内のコミセンの中で2番目に蔵書数の多い図書室になります。また、一般図書と児童図書で部屋が分かれているため、お子さん連れの方も、気兼ねなく図書に親しんでいただけますよ！

図書カードがない方も身分証があれば、簡単な申請をするだけでその日に借りることができます。詳しくはコミュニティセンター窓口までお気軽にお尋ねください♪